

落花生「ナカテユタカ」栽培ごよみ

ポイント

I 出芽・苗立ちの安定

適期は種
欠株は子葉展開期までに追い播きし、
欠株率は、1割以内に抑えましょう。

II 初期生育量の確保

出芽と同時に旺盛に生育できるように
リン酸資材や石灰で土壌改良をしまし
よう。

III マルチ除去と総合防除

開花期を迎えたら10日以内にマルチを除
去し、中耕培土を実施しましょう。また、
病虫害防除を適期に実施しましょう。
※開花期とは、開花始めの株が全株数の
4～5割に達した時。

IV 適期収穫

適期収穫の目安は開花期後80日です。収
穫遅れによる品質の低下が特に大きい
ので、収穫時期が近づいたら試し掘りし、
過熟にならないうちに収穫しましょう。

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

は種期

開花期

収穫期

追い播き

※開花期の記録

は種準備

耕起・整地
土壌改良
種子選別
マルチ張り

は種量(10a当たり)

子実6.5kg 莢実13.0kg

は種期

標準栽培(マルチ)5/上～下旬

中耕・培土

マルチ除去後、子房柄が伸長を開始する前までに行なう。

病虫害防除

褐斑病/トップジンM水和剤
ダコニール1000
黒波病/トップジンM水和剤
汚斑病/スミレックス水和剤
コガネムシ類幼虫/オンコル粒剤5
フォース粒剤
白絹病/連作を避けましょう。
※農薬登録は平成28年2月17日現在の情報です。
※使用に際しては農寄りの普及センター・JA
にお問い合わせ下さい。

収穫期の目安

9/中～9/下旬
※(開花期後80日)
莢を剥いて8割程度の子実
がうす桃色～桃色になっ
ているか、1割程度の子実の表
面(しぶ皮)に暗褐色の斑点
(シミ)が発生している頃。

乾燥

地干し、晴天で7～10日島立てにする。
莢をふるとコロコロと音がするようにな
ったら野積みする。(子実水分20%)

野積みのかたち
高さ 1.5m～1.8m
直径 1.3m



脱莢・調製

脱莢は指で強く押すとわずかに柔み
を感じる頃(子実水分9%)に行なう。

施肥の目安(10a当たり)

(成分量:kg)

土 壌	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
黒色火山灰	3	10	10
褐色火山灰	3	10	10
沖 積	3	8	8

落花生奨励品種特性表

品 種 名	来歴または 両 親 名	奨励品種 採用年度	草 型	は種期 (月日)	開花期 (月日)	収穫期 (月日)	最 長 分枝長 (cm)	分枝数 (本/株)	莢実数 (莢/株)	莢実重 (kg/10a)	むき実 歩 合 (%)	上 実 百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)	子 実				栽培適地	特 記 事 項			
														整 否	粒 色	色 沢	品 質					
ナカテユタカ	関東8号 ×334A	昭54	立 性	5.14	6.26	9.15	57.3	40.2	33.5	307	70	103.4	316	整	淡橙褐	良	やや上 ～上	無～微	無～中	微	県内全域	収穫遅れにより、品質および食味が大きく 低下する。収穫の目安は開花期後80日。

(注) 1. 数値は下記条件における試験結果による。

- 試験年次: 平成23年～平成27年の5ヶ年間の平均値
- 試験条件: 栽培型 マルチ栽培 栽植密度 平均畦幅60cm 株間24cm
土改剤(kg/10a)、消石灰: 100、ようりん: 150、施肥量(kg/10a)、窒素: 3、
リン酸: 12、加里: 12
- 試験ほ場: 農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)、畑(表層腐植質黒ボク土)

2. 開花期: 全株数の40～50%が開花始めに達した日